

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>55% 40% 5% 0% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 95%(100%)                      ・生徒 88%( 89%)                      ・保護者 71%( 78%)                      ・地域 100%(100%)                      全体的に肯定評価の割合が高く、周知が進んでいることが伺える。                      保護者評価の割合が、他と比べ、割合が低いため、周知の仕方を工夫する必要がある。</p>
	生徒	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>46% 42% 11% 2% 0%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・引き続き、授業参観や学校行事、学校だより、学校ホームページなど、様々な機会を通して学校教育目標や教育方針の周知を図る。</p>
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>13% 58% 25% 5% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・学校ホームページや学校だよりにおいて、学校教育目標の周知がされていることや学校朝会の校長講話において学校教育目標に関する話題を取り上げていることは評価できる。                      ・発信の仕方を工夫することで、保護者への周知を図ってほしい。</p>
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>50% 50% 0% 0% 0%</p>	

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 94%( 94%)                      ・生徒 95%( 97%)                      ・保護者 92%( 88%)                      ・地域 100%(100%)                      生徒の評価から、学校生活の満足度が高いことが伺える。</p>
	生徒	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・教職員は、さわやか相談員やスクールカウンセラーなどの専門家と連携し、生徒理解を深めながら支援を充実させる。                      ・学校公開日や学校ホームページ、各種たよりなど、保護者が学校の取組を知ることでできる機会の充実を図る。</p>
	保護者	②学校は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・教師と生徒のコミュニケーションが図れており、学校全体が落ち着いている。                      ・引き続き、特に生徒評価については100%の肯定評価を目指してほしい。</p>
	地域	②学校は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、生徒が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。		<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 88%(100%)                      ・生徒 89%( 89%)                      ・保護者 93%( 88%)                      ・地域 100%(100%)                      肯定的評価が90%近くあるものの、主体的な学びや対話的な学びを通して、学びをより深めることは、今の教育に求められている事であり、100%の肯定的評価を目指す必要がある。</p>
	生徒	③私は、自分の意見を発表したり、友達のことを聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力向上のため、職員研修の工夫改善を図る。</li> <li>・県学力・学習状況調査を有効活用し、結果分析から、更なる授業改善を図る。</li> </ul>
	保護者	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達のことを聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観では、生徒間の対話を通して学び合う姿が多くみられた。</li> <li>・集団で学びながらも生徒個々の力を伸ばしてほしい。</li> </ul>
	地域	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達のことを聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。		

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 88%( 89%)                      ・生徒 92%( 91%)                      ・保護者 92%( 87%)                      ・地域 100%(100%)                      全体的に肯定評価の割合が高く、家庭での活用や授業配信により、ICT活用による授業への理解を深めることができたと考えられる。</p>
	生徒	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・学校公開日や学校ホームページ、各種たよりなど、保護者が学校の取組を知ることのできる機会の充実を図る。</p>
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・授業参観では、一人一台の学習用端末やモニターを効果的に活用している場面が多く見られた。                      ・教職員間で活用差があるように感じるので、活用事例の研修などができるとよい。</p>
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>80% 82% 84% 86% 88% 90% 92% 94% 96% 98% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 100%(100%)                      ・生徒 79%( 82%)                      ・保護者 91%( 87%)                      ・地域 100%( 67%)                      体育授業では、運動量を確保した授業を展開し、生徒が主体的に運動している。体育授業以外の運動機会が減っており、体力向上に向けては、体育授業が担う役割が大きいことが伺える。</p>
	生徒	⑤私は、体育や休み時間・部活動等で、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。		<p>課題解決への方策</p> <p>・本校の体力的課題を明確にし、課題解決に向けた体育科授業の工夫改善や体育的行事との関わりの中で体力課題の解決を図る。</p>
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・体力向上を目指すと同時に、性教育含む保健指導の充実を図ってほしい。</p>
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。		

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導①	教職員	⑥私は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。		<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 94%(100%)                      ・生徒 87%( 88%)                      ・保護者 87%( 84%)                      ・地域 100%(100%)                      肯定評価の割合が高かったものの、本項目は、生徒指導上大変重要な項目であり、100%の肯定的評価を目指す必要がある。</p>
	生徒	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との情報共有に努め、共通理解のもとで支援を進めていく。</li> <li>・各種アンケートなどを活用し、早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・さわやか相談員やスクールカウンセラーなど、専門家との連携を図りながら、丁寧に対応していく。</li> </ul>
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの大人で生徒を見守ることができる環境づくりに努めてほしい。</li> <li>・いじめ事案については、アンテナを高くし生徒の様子を見取ってほしい。</li> <li>・働く保護者が多い中、学校との連携が難しいこともあることが想像できるが、生徒たちのために工夫して連携してほしい。</li> </ul>
	地域	⑥学校は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。		

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導②	教職員	⑦私は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 100%(100%)                      ・生徒 92%( 93%)                      ・保護者 82%( 82%)                      ・地域 88%(100%)                      肯定評価の割合が高かったものの、本項目は、生徒指導上大変重要な項目であり、100%の肯定的評価を目指す必要がある。</p>
	生徒	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年学級を超え、全教職員で全生徒に関わる組織づくりを進める。</li> <li>・家庭との情報共有に努め、共通理解のもとで支援を進めていく。</li> <li>・さわやか相談員やスクールカウンセラーなど、専門家との連携を図りながら、丁寧に対応していく。</li> </ul>
	保護者	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への情報発信に努め、連携して生徒の成長を支援してほしい。</li> </ul>
	地域	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 100%( 95%)                      ・生徒 83%( 84%)                      ・保護者 77%( 77%)                      ・地域 100%( 83%)                      個に応じた指導(指導の工夫)についてのイメージができないため、教員とその他の評価の割合に差ができていることが考えられる。</p>
	生徒	⑧私は、苦手なことなどを、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する情報を積極的に発信していく。</li> <li>・教育相談部会を活用し、個に応じた支援について、組織で検討し、支援につなげる。</li> <li>・引き続き、相談窓口の周知や相談しやすい雰囲気づくりに努める。</li> </ul>
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スペシャルサポートルームなど、個に対応した環境が充実してきている。</li> <li>・特性をもつ生徒の理解や対応について、研修を深めてほしい。</li> </ul>
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
地域とともにある学校	教職員	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>【肯定評価】( )内、昨年度の評価                      ・教員 85%(100%)                      ・保護者 91%( 90%)                      ・地域 88%( 83%)                      「地域とともにある学校」に向けた取組について、保護者、地域に知ってもらう必要がある。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>・学校運営協議会や学校応援団コーディネーターからいただいた意見を基に、取組の工夫改善を図る。</p>
	保護者	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・生徒が地域で活躍できるボランティア活動が充実するとよい。                      ・「富士見中防災教育チャレンジday」は、よい取組である。</p>
	地域	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		

鶴ヶ島市立富士見 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	評価結果 についての 分析・課 題	【肯定評価】( )内、昨年度の評価 ・教員 90%( 96%) 働き方改革が業務の縮小ではなく、業務の効率化による教育の維持・向上であることを認識した上で業務改善を推進する必要がある。
	生徒			課題解決 への方策	・業務改善研修会を実施し、教職員の意識を高めていく。 ・校務分掌の分担の工夫・改善を図る。
	保護者			学校関係 者評価委 員会による 評価	・教員の労働時間が働く保護者の都合と合わないこともあり、学校の業務改善の難しさを感じている。
	地域				